

入鹿小だより

熊野市立入鹿小学校
校長 樋口 佳洋
平成 29 年 7 月 20 日
第 10 号

いよいよ夏休み！ 元気に過ごしてね

ついこの前、新学期が始まったと思っていたら、もう明日から夏休みです。1学期の終業式で私は児童にひとつだけ宿題を出しました。それは

「9月1日に全員の元気な姿を見せること」です。

交通事故や水の事故、いろいろな危険から身を守ることはとても大切なことです。決して難しいことではありませんね。

保護者・地域の皆様におかれましては、4月から入鹿小学校の教育活動にご理解、ご協力いただきまして誠にありがとうございました。4月にお預かりした皆様の大切なお子様を、一旦、各ご家庭にお返しいたします。夏休み中はお子様の世話等で大変かと思いますが、子どもたちにとっては大切な夏休みです。9月1日には24人全員の元気な姿を見ることを楽しみにしています。



7月下旬～9月中旬の予定

夏休みの水泳・・・7月21日(金)・25日(火)・26日(水)・28日(金)・8月1日(火)

13:30～15:30 いずれもB&G海洋センター

8月 7日(月)・・・登校日(通常の登校時刻、10:45下校)

8月14日(月)・15日(火)・16日(水)・・・学校閉校

9月 1日(金)・・・2学期始業式(通常の登校時刻、11:30下校)

9月10日(日)・・・丸山千枚田稲刈り

9月11日(月)・・・代休

9月16日(土)・・・土曜授業(運動会に向けての環境整備)

※保護者の皆さんの参加をお願いします

おことわり

8月14日(月)・15日(火)・16日(水)の3日間は平日ではありますが学校を閉校させていただきます。この間、もし緊急なことがございましたら、保護者の皆さまは各担任へ、地域の皆さまは熊野市教育委員会(89-4111)へご連絡いただきますようお願いいたします。

マナウスよもやま話 ⑥

マナウスのアパート事情

電気がいつ開通するのか気をやきもきさせながら、やっとのことでアパートに入居することができました。マナウスでは派遣教員は全員アパートに住んでいました。アパートと言っても、日本でイメージするアパートではありません。日本でいうと「マンション」に近いかと思います。「マンションとはたいそう豪勢な」と思われる方がいるかもしれませんが、それには理由があるのです。

ブラジルをはじめ、日本以外の国で住むにあたって一番気をつけなければならないのが治安です。「治安がいいアパート」＝「ガードマンがいるアパート」＝「日本でいうマンション風のアパート」という式が自動的に成り立ちます。さらに高層階の方がより安全というのもあります。私たちは13階建ての12階に住んでいました。アパートの入口には昼間はポルティロ（門番）、夜間は銃を持ったガルダ（ガードマン）がいて、住人ならその人の顔を見て門や駐車場の入口をあけてくれますが、住人でない場合は各部屋まで電話が来て、「こんな人が来ているけど入れてもいいか」と尋ねてきます。安全があってしっかり仕事に専念できるわけですから、派遣教員の住まいを選ぶ基準は、このようなアパートとなってしまうのです。決して贅沢をしているわけではないのです。



13階建てですから、エレベーターはありました。しかも、2種類のエレベーターが。ひとつは住人やお客さんが普通に使うためのもの。もうひとつは業務用とでもいうのか、工事の人や家政婦さんなどが使います。たとえ住人でも大きな荷物を持っていたり、たくさんの買い物をしてきてカート（スーパーにあるカートをもっと大きくしたもので、大抵のアパートにはそのアパート専用のカートが備え付けてありました）を使ったりするときは、業務用を使うことになっていました。

ところがこのカートがときどき厄介者になるのです。日本人の皆さんならこのカートを使った後はどうされますか。多分、元あった場所に返しに行くと思うのですが、そこはラテンの血が流れているブラジル人です。地下の駐車場に所定の置き場があるのですが、そこに返っていることはめったにありません。自分の階で降りたら、カートはエレベーターに乗せたままです。ですから、エレベーターを使うのに戸が開くと、カートだけが乗っているということがほとんどでした。戸が開いて乗り込もうとすると中にカートが入っている。初めのうちはビックリしたものでした。ひどいときには中に入ったカートが邪魔をして戸が途中まで閉まっては開くのくりかえしで、エレベーターが止まったままのときもありました。しかし、慣れというのは恐ろしいもので、そんなことを言っている我が家も、そのうち、使った後はエレベーターに乗せたままになってしまいました。（笑）